

令和8年度 牧之原市立川崎小学校 学校評価 (前期)

校長

中村 元信

1 昨年度の成果と課題

○明るく素直、人なつっこい
 ○行事や係、委員会活動に友達と協力しながら取り組む
 ○全校で「そうじ」に取り組む意識が定着している。
 ○与えられた課題について考えたり、授業の振り返りを書いたり、自分なりに取り組む。
 ○友達と話し合ったり、意見を伝えあったりして考えを深める活動に進んで取り組もうとする児童が増えている。

▲高い目標や困難なこと、新たに考えて取り組む活動などに、自ら進んで挑戦し、自分をより高めようとする姿勢を更に向上したい。
 ▲筋道を立ててわかりやすく伝えたり、自分なりに工夫して話したり、条件に合わせて書いたりする自己表現に課題がある。

2 本年度の基本方針（経営の重点）

- ・学校経営理念：未来を創る「ハッピー」な学び舎の実現
 - ・学校経営目標：「知りたい・やってみたい」が溢れ、共にハッピーを創り出す学校
1. 「内発的動機付け」に基づき、学びを深める学校
 2. 「ハッピータイム」を核に対話を通して「納得解」の先を創る学校
 3. 地域を「学びのパートナー」とし、社会と共に歩む学校
 4. 起郷家教育を軸とした、保幼小中の連携・接続を大切にしたい学校

3 具体的な取組

| 目標 | 具体的な取組 | 成果目標 | 評価 | 成果と課題 |
|---|---|---|----|-------|
| 「自ら求め、みんなで解決できるハッピーな授業」をめざし、『課題発見・解決力』『創り出す力』を育成する。 | ○授業におけるハッピーな姿を校内研修とおして共有し、実践につなげる。 ○ICT機器の効果的活用と生成AI、AIドリルの活用で学びを深める。 | 授業づくり成果指標の「問題を見つけて解決する力」「新しい価値を創り出す力」とともに90%以上（児童評価・教員評価） | | |
| 「自己有用感を高める」生徒指導目標をめざし「わたしもあなたも」大切にしたいハッピークリエーターを育成する。 | ○学校生活におけるハッピーな姿を放送や集会、学級活動などで共有し、ハッピーをつくることや増やすことの意欲付けと取組を見える形で継続する。 | 生活習慣（あいさつ・掃除・約束）や規範意識の項目において90%以上（児童評価・教員評価） | | |
| 起郷家教育を軸とした、保幼小中の連携・接続を大切にしたい教育活動を推進する。 | ○起郷家教育プログラムの充実をCS活動と連携して深化する。 ○保幼小中の連携の場を教育活動に位置づけ、子供が交流するとともに、教員が考え方や目指す方向性を共有する。 | 自己を見つめることやハッピークリエーターをめざしての項目において90%以上（児童評価・教員評価） | | |
| 地域・保護者に信頼される学校、コミュニティ・スクールをめざす。 | ○川小応援隊をはじめとする地域人材を積極的に教育活動に関われるような環境整備をすることで、参画意識まで高める。 ○教育活動を、積極的に地域へ広報していく。 | ○教職員とともに子供を育てる保護者95%以上（保護者評価） ○地域ボランティア活動の認知90%以上（保護者評価） | | |